

(平成29年度)																																			
市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考						
				計画時 (平成26年)	1年後 (平成27年)	2年後 (平成28年)	3年後 (平成29年)						目標値 (平成29年)	達成率	計画時 (平成26年)	1年後 (平成27年)	2年後 (平成28年)	3年後 (平成29年)						目標値 (平成29年)	達成率					交付金	都道府県費	市町村費	その他		
浜田市	島根県農業協同組合	土地利用型作物(稲)	J Aしましま中央地区本部において、J A出荷販売実績の1等米比率の13.6ポイント向上	1等米比率63.6%(平成26年)	1等米比率80.3%(平成27年度)	1等米比率82.5%(平成28年度)	1等米比率71.2%(平成29年度)				1等米比率77.2%	55.9%		土地利用型作物(稲)	高温耐性品種の作付割合を35.2ポイント向上 実施地区(水稲315.8ha)において、高温耐性品種(「つやねむ」)の作付面積を増加	高温耐性品種の作付割合18.6%(平成26年)	高温耐性品種の作付割合20.4%(平成27年)	高温耐性品種の作付割合23.2%(平成28年)	高温耐性品種の作付割合24.4%(平成29年)				高温耐性品種の作付割合53.8%	16.5%	高温耐性品種の作付面積が5.8ポイント増加	水稲施設・育苗施設(熊倉造平原建576㎡) ・緑化室(軽量鉄骨造396㎡) ・模化ハウス(6,588㎡) ・播種プラント一式	264,308,400	106,811,000	0	30,000,000	127,497,400	H28.3.25	【1等米比率の向上目標】 「1等米比率については、夏場の高温障害が顕著に表れており、「コシヒカリ」69.2%、「きぬむすめ」80.0%、「つやねむ」79.9%と、特に「コシヒカリ」の1等米比率が伸び悩んでいる。理由としては、小規模農家では経営面積が小さく、高温耐性品種への品種分散が出来なかったこと、大規模農家では、流域水系の利用と併せて高温耐性品種の作付時期に合わなかったこと等が挙げられる。また、H29年度は例年に比べて乳白粒を中心とした未熟粒の発生が特に多く、平場での高温障害によるものと考えられる。 引き続き、高温耐性品種への転換を進めるため、冬期座談会(JA管内46会場)を利用した作付体系の見直しを行いながら、規模拡大が見込める担い手を中心に作付誘導を行い、「1等米比率の向上」に取り組む。その他、栽培指導の改訂時期に併せて、肥培管理についても指導を行っていく。 【高温耐性品種の作付面積増加目標】 目標達成に向けた取組結果として、事業実施地区内の高温耐性品種(「つやねむ」「きぬむすめ」)の作付割合は年々増加しているものの、H29年度は24.4%と目標を達成できなかった。営農組合・法人等の大規模家においては、作期分散により、品質低下等の危険回避と労働力の分散を行い、売れる米作りの観点からも品種転換が図られ、作付面積は増加している。一方、小規模農家においては、高温耐性品種作付のメリットが十分に伝わらず、従来の「コシヒカリ」からの脱却が図られなかったことが要因として考えられる。 引き続き、関係機関が連携し、水稲座談会を中心に栽培指導や収益性のメリットを伝え、さらには、販売戦略を示すことで高温耐性品種の生産拡大に向けて取組む。	県では、J Aしまと連携し、高温耐性があり、卸売業者等から引き合いの強い「つやねむ」、「きぬむすめ」への品種転換を推進している。こうした取組により、つやねむ、きぬむすめの作付面積は拡大傾向にあり、品質の安定につながっている。 一等米比率については、目標値を超える年度もあり、一等米比率が高い年、低い年の要因分析を行い、特に一等米比率が伸び悩む、平田地における高温耐性品種への転換による品質向上を図っていく必要がある。 また、事業実施主体においては、水稲座談会等により高温耐性品種の経済性等のメリットをPRし、大規模農家を中心に作付面積が増加しているものの、事業実施地区内における作付割合は、目標達成には至らなかった。今後、重点対象者を絞り、集中的にコシヒカリから「つやねむ」、「きぬむすめ」への品種転換に努めていきたい。 県としても目標達成に向け、事業実施主体や浜田市と連携し、播種状況の把握及び指導を引き続き行っていく。	